



北リアスの風

2017年
春号

繋がる

1

院長あいさつ

2

新任医師の紹介

3

TOPICS

禁煙外来について
シンボルマーク制定について

繋がる

1

院長あいさつ

岩手県立久慈病院 院長
吉田 徹



今年も、久慈病院は50名の新採用・転入者を迎えて新年度をスタート致しました。

病院ロゴマークも決まり、3名の初期臨床研修医を含む各部門に新採用者を迎えて、院内は活気に満ちあふれています。

昨年8月に、久慈地域は台風10号により甚大な被害を受けました。

東日本大震災から5年しか経過していない三陸地域への重なる災害には、天を恨みたくなる気持ちにもなりましたが、久慈病院スタッフは久慈医療圏の健康を守るため日夜診療業務に励んで参りました。地域の皆様の努力と団結力により確実に地域の復興は進んできており、今年度は新たな発展の1年になると確信しております。

今年は、現在の場所に久慈病院が新築移転してから20年目の年にあたります。

病院は20年の年月を感じさせない美しさを保っておりますが、この久慈地域で求められる医療は大きく変わってきました。

地域の高齢化に伴い、病院が提供する医療も急性期疾患に対する「治す医療」のみならず、多くの疾患を有する

高齢者を「癒し支える医療」への転換が必要となりました。そして、久慈病院の機能およびスタッフの力だけでは、そのミッションを遂行する事は難しくなっています。

その思いも込めて、今年度の当院のkey wordを「繋がる」としました。

これは、久慈病院内の各部門内、部門間スタッフ同士が「繋がる」事はもちろんですが、院外の医療介護保健福祉に関わる多くの地域で働く職種の方々とも「繋がる」事を目標としたものです。

病院職員同士が、そして久慈医療圏の健康を守るために頑張っている多くの人たちと「繋がる」事で、それぞれが持っている力が2倍にも3倍にもなります。

今年度は、医療・介護・福祉の役割分担をより明確にして、情報ネットワークの力も駆使しながら患者さんの情報を共有して効率よく進めていきたいと思っています。

今年も、職員一同一丸となって、「地域から信頼される病院」を目指して、地域に貢献していきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

2

新任医師の紹介

循環器科長 大崎 拓也



循環器科の大崎と申します。昨年まで八戸赤十字病院に勤務しており、週一度の診療応援で久慈病院の外来診療に携わっておりました。本年度からは常勤医として、今後の久慈地域の医療に貢献できるよう励んでまいりたいと思います。皆様よろしくお願いいたします。

外科医長 八重樫 端典



皆さま、こんにちは。6年ぶりに久慈に戻ってきました。消化器外科を中心に一般外科として様々な疾患に応じて加療できればと考えております。馴れ親しんだ土地でまた働けることは非常に幸せで、育ててもらった久慈医療圏に少しでも貢献できればと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科医長 宮澤 晴奈



こんにちは。本年度よりリハビリテーション科医長として久慈病院に赴任いたしました宮澤晴奈です。Common diseaseから神経難病まで地域の皆さんに寄り添った医療ができるように努力してまいります。皆様、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

医師 辻 佳子



循環器科の辻佳子です。久慈圏域の循環器疾患への対応、診療に日々、励んで参りますので、よろしくお願いいたします。

整形外科医長 張簡 鴻宇



本年度より県立久慈病院整形外科に配属になりました張簡鴻宇と申します。久慈病院整形外科は二人体制であり、また医療圏に他院整形外科が少ないこともあって、外来は大変混雑しております。できるだけスムーズな診療を心がけますのでよろしくお願いいたします。

医師 石岡 秀基



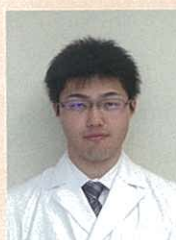
この度、岩手県立久慈病院の外科で勤務をさせて頂くこととなりました、石岡秀基と申します。今年3月に初期臨床研修を終えたばかりなので、皆様には何かとご迷惑をおかけするかと存じますが、精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。

臨床研修医 大矢 康貴



研修医の大矢康貴と申します。未熟者で至らぬ点も多いかと思いますが、多くのことを吸収して成長できるように、積極的に頑張ってお参ります。よろしくお願いいたします。

臨床研修医 高橋 真人



2年間、久慈病院で初期研修をさせていただくことになりました。出身は花巻市で、花巻北高校・岩手医科大学を卒業しました。部活動は小学校から大学まで野球を続けてきました。未熟者ではありますが、元気とやる気と根性で、少しでも成長できるよう頑張っていきます。皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

臨床研修医 中村 麻乃



研修医の中村麻乃です。沿岸で生活するのは初めてのことであり、また、研修医としても駆け出したばかりで期待と不安で一杯ですが、ひとつひとつ確かなものにしていけるよう日々努力していきます。未熟で至らない点も多々あると思いますが、ご指導をよろしくお願いいたします。

TOPICS

禁煙外来について

総合診療科長

溝部 宏毅（禁煙外来担当）

4月より毎週火曜日の午後に完全予約制ですが禁煙外来を開設しました。

禁煙外来では、主にチャンピックスという禁煙補助薬を使用します。服用することにより少量のドーパミンが放出されるため、イライラなどのニコチン切れの症状が軽くなり、タバコを吸ってもあまり「おいしい」と感じなくなります。通常、12週間服用し、その間に5回の診察を受けて頂きます。

禁煙外来では、一人に30分かけてじっくり話を聞きます。治療の経過を聞き、離脱症状やタバコを吸ってしまったことに対してのアドバイスを行います。そのため一人で頑張るより楽に治療を続けることができます。私はこれまでに70人以上の方の禁煙に成功しています。

ニコチン依存症は病気であるということが厚生労働省にも認められ、2006年から健康保険を使って禁煙治療を受けることができるようになっていました。自己負担が3割の人は、約3ヶ月の治療で薬代も含めて2万円程度です。一日20本以上タバコを吸われる方の場合、3ヶ月のタバコ代よりも禁煙治療の方が安くなるので経済的負担も多くありません。タバコをやめることが難しい方に禁煙外来を勧めて頂ければ幸いです。



3

TOPICS

禁煙外来について

シンボルマークの制定について

TOPICS

シンボルマークの制定について



久慈病院では、シンボルマークを制定いたしました。

久慈病院の頭文字「K」がモチーフです。

4つのパーツは久慈医療圏の1市1町2村（久慈市・洋野町・野田村・普代村）を表しています。また、エメラルドグリーンは北三陸の海、ブラウンは台地をイメージし、北三陸の豊かな大自然を表現しております。

久慈病院が久慈医療圏の核として、地域に寄りそう優しい病院であることを願い、柔らかな雰囲気ですばりました。

3

TOPICS

禁煙外来について

シンボルマークの制定について

北リアスの風

北リアスの風

2017年
春号

